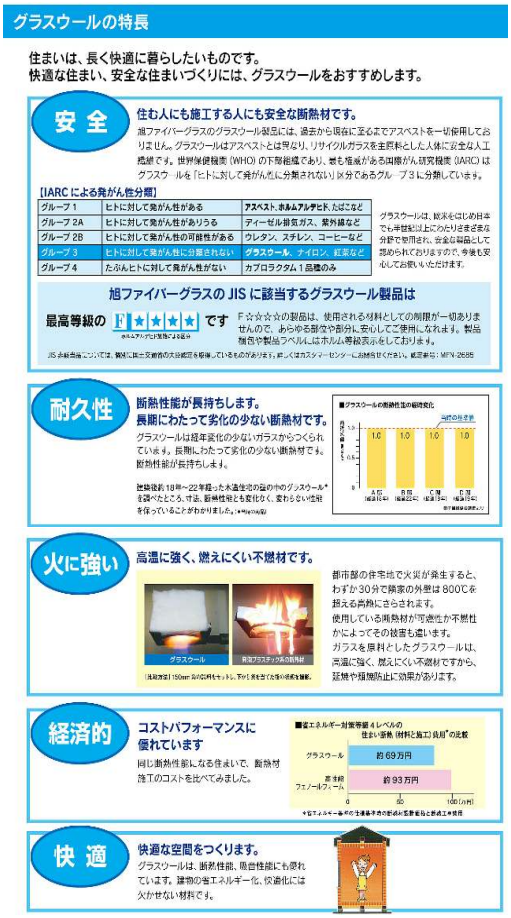
◎ノエル◎

高性能グラスウール

※写真は一例です



グラスウールの特長

住まいは、長く快適に暮らしたいものです。
快適な住まい、安全な住まいづくりには、グラスウールをおすすめします。

安全

住む人にも施工する人にも安全な断熱材です。

旭ファイバーグラスのグラスウール製品には、過去から現在に至るまでアスベストを一切使用しておりません。グラスウールはアスベストとは異なり、リサイクルガラスを主原料とした人体に安全な人工繊維です。世界保健機関（WHO）の下部組織であり、最も権威がある国際がん研究機関（IARC）はグラスウールを「ヒトに対して発がんに分類されない」区分であるグループ3に分類しています。

【IARCによる発がん性分類】

グループ1	ヒトに対して発がん性がある	アスベスト、ホルムアルデヒド、たばこなど
グループ2A	ヒトに対して発がん性がありうる	ディーゼル排気ガス、紫外線など
グループ2B	ヒトに対して発がん性の可能性がある	ウレタン、スチレン、コーヒーなど
グループ3	ヒトに対して発がん性に分類されない	グラスウール、アイロン、紅茶など
グループ4	たぶんヒトに対して発がん性がない	カプロラクタム1品種のみ

グラスウールは、欧米をはじめ日本でも半世紀以上にわたりさまざまな分野で使用され、安全な製品として認められておりますので、今後も安心してお使いいただけます。

旭ファイバーグラスのJISに該当するグラスウール製品は

最高等級の F★★★★★ です

ホルムアルデヒド放散による区分

F☆☆☆☆の製品は、使用される材料としての制限が一切ありませんので、あらゆる部位や部分に安心してご使用になれます。製品梱包や製品ラベルにはホルム等級表示をしております。

JIS表示製品については、製品に表示要件の大臣認定を取得しているものがあります。詳しくはカスタマーセンターにお問合せください。認定番号：MFN-2686

耐久性

断熱性能が長持ちします。
長期にわたって劣化の少ない断熱材です。

グラスウールは経年変化の少ないガラスからつくられています。長期にわたって劣化の少ない断熱材です。断熱性能が長持ちします。

建築後約18年～22年経った木造住宅の壁の中のグラスウール*を調べたところ、けば、断熱性能とも変化なく、変わらない性能を保っていることがわかりました。（*サンプル）

■グラスウールの断熱性能の経時変化

相対熱抵抗

	A社	B社	C社	D社
新品	1.0	1.0	1.0	1.0
経過約18年	1.0	1.0	1.0	1.0

新聞紙を断熱材として使用

火に強い

高温に強く、燃えにくい不燃材です。

グラスウール　発泡プラスチック系断熱材

（試験方法：150mm角の石膏ボードをセットし、下から炎を当てた後の状態を観察。）

都市部の住宅地で火災が発生すると、わずか30分で隣家の外壁は800℃を超える高熱にさらされます。
使用している断熱材が可燃性か不燃性かによってその被害も違います。
ガラスを原料としたグラスウールは、高温に強く、燃えにくい不燃材ですから、延焼や類焼防止に効果があります。

経済的

コストパフォーマンスに優れています

同じ断熱性能になる住まいで、断熱材施工のコストを比べてみました。

■省エネルギー対策等級4レベルの住まい断熱（材料と施工）費用*の比較

グラスウール	約69万円
硬質ポリウレタンフォーム	約93万円

0　50　100（万円）

*旭ファイバーグラスの「住宅断熱工事の設計と施工」参照

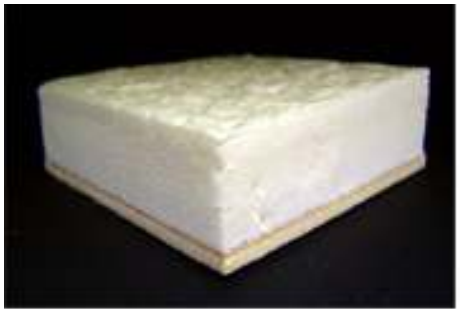
快適

快適な空間をつくります。

グラスウールは、断熱性能、吸音性能にも優れています。建物の省エネルギー化、快適化には欠かせない材料です。

◎ビクトリア・アルル◎

発泡ウレタン吹付



人、環境への配慮

環境に悪影響を与えるフロンガスを使わずホルムアルデヒドも発生させない、住む人にも施工する人にも優しい断熱材です。

換気システムの効率化

効率的な換気を行うための空気の通り道を確保し、漏気の原因となる隙間をふせぎ、優れた空気環境を長期間に亘って維持します。

静かな住空間・吸音性能

硬質ウレタンフォームによる隙間のない施工で高い気密性を実現。細かな気泡構造は吸音性にも優れています。

長期間、安定した性能を発揮。

連続気泡構造によりガス抜けによる収縮がなく、長期間に亘って安定した性能を発揮します。